

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL <http://www.nittoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,185	△25.4	260	△68.4	335	△60.7	223	△61.2
2019年3月期第1四半期	6,946	28.6	823	20.5	853	22.2	576	17.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 4百万円(△99.0%) 2019年3月期第1四半期 443百万円(△35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.37	—
2019年3月期第1四半期	31.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,168	27,960	72.9
2019年3月期	38,728	28,227	72.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 27,814百万円 2019年3月期 28,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,900	7.0	2,050	26.4	2,070	22.3	1,450	23.3	80.25
通期	33,000	3.7	4,250	10.4	4,300	9.6	3,050	6.8	168.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	18,098,923株	2019年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	31,269株	2019年3月期	31,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	18,067,654株	2019年3月期1Q	18,067,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、景気が上向きと言われるアメリカでの予防的金利引き下げが取り沙汰される一方で、多くの先進国が景気の停滞、減速、悪化を表面化させ、新興国の一部も中所得国の罠に陥るなど、総じて、景気不透明感が続く状況にありました。

当社グループは、そのような状況下、安全な環境（Environment）を築くため、「燃料」をはじめとする「火」を捨てて脱炭素社会に向かおうとする世界的な流れの中、「火」に代わる「コイル/モータ」を生産する精密FA設備のリーディングカンパニーを目指しています。このため、研究開発を鋭意進めることで社会的責任（Social responsibility）を果たし、社会とともに持続的に成長する（Sustainable growth）ことを目指した企業活動を行っています。

直近の当社を取り巻く環境については、米中貿易摩擦の影響を受けた顧客の設備投資抑制状態が散見されるなど、その慎重姿勢が反転する時期は判然としませんが、環境保護や安全を求める「デジタル化」や「つながる社会」、「ロボティクス」などの分野では、グローバル社会の方向性に沿って顧客が進める生産スケジュールにあわせ設備投資の受注、生産は継続しており、またEVや自動車の電装化、5G向けインフラおよび機器の製造、生産の省人化およびライン化などの当社グループ関連のテーマも絶えることはないものと考えています。

当第1四半期連結累計期間においては、マーケット別では、自動車の環境規制対応、安全性対応が力強く推移し、情報通信セグメントに属する電子部品関連メーカーが自らへの需要に応じた設備投資を断続的に行うという状況が続きました。

利益面では、開発要素の高い案件の売上げが相対的に多くなったことと、また、顧客納期が第2四半期以降に偏っていることにより固定比率アップにつながり、諸利益が前年同期比で減少しました。

これらの結果、売上高は51億85百万円（前年同期比25.4%減）、営業利益は2億60百万円（前年同期比68.4%減）、経常利益は3億35百万円（前年同期比60.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億23百万円（前年同期比61.2%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりです。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

車載モータは、EVメインモータや発電用モータなどの「走る」、電動パワーステアリングモータシステムの「曲がる」、電動ブレーキモータシステムの「止まる」の高度化が進み、一設備当たりの金額が比較的高いこれらモータ組立ラインへの需要は堅調な推移を続けました。また、情報通信向けは、米中貿易摩擦問題などの影響でスマートフォン関連設備は減少傾向にあるものの、情報機器類やワイヤレス通信などは断続的ですが受注があり、前第4四半期に大幅に落ち込んだ個別受注は前第3四半期の7割の水準まで回復しました。

これらの結果、全売上高の約94%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売上高は48億74百万円（前年同期比27.7%減）、セグメント利益（営業利益）は3億79百万円（前年同期比64.1%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は49億51百万円（前年同期比43.9%減）、売上高は39億88百万円（前年同期比28.6%減）、当第1四半期末の受注残高は148億25百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

当第1四半期連結累計期間では、生産管理用ICタグに回復傾向が見られ、受注、売上とも増加しました。

これらの結果、非接触ICタグ・カード事業におきましては、連結売上高は3億10百万円（前年同期比53.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1億28百万円（前年同期比1739.3%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は2億85百万円（前年同期比39.5%増）、売上高は3億10百万円（前年同期比53.6%増）、当第1四半期末の受注残高は2億7百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は前連結会計年度末対比10億53百万円減少し、268億69百万円となりました。これは主として、電子記録債権が13億43百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が23億64百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比4億94百万円増加し、112億99百万円となりました。これは主として、その他（純額）に含まれる建設仮勘定が5億46百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比5億59百万円減少し、381億68百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末対比4億21百万円減少し、97億40百万円となりました。これは主として、短期借入金が10億円増加した一方で、電子記録債務が13億46百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比1億28百万円増加し、4億68百万円となりました。これは主として、その他に含まれるリース債務が82百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比2億93百万円減少し、102億8百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比2億66百万円減少し、279億60百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表したとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,125,865	9,734,577
受取手形及び売掛金	7,899,694	5,535,369
電子記録債権	1,256,936	2,600,679
有価証券	200,158	200,555
仕掛品	5,944,591	6,822,476
原材料及び貯蔵品	1,418,812	1,335,451
その他	1,114,577	676,993
貸倒引当金	△37,544	△36,965
流動資産合計	27,923,090	26,869,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,413,044	3,424,710
機械装置及び運搬具（純額）	574,135	553,421
土地	1,968,801	1,968,801
その他（純額）	836,752	1,542,872
有形固定資産合計	6,792,733	7,489,807
無形固定資産		
のれん	3,769	—
その他	170,039	159,310
無形固定資産合計	173,808	159,310
投資その他の資産		
投資有価証券	2,850,374	2,626,917
その他	988,308	1,023,600
投資その他の資産合計	3,838,683	3,650,518
固定資産合計	10,805,225	11,299,635
資産合計	38,728,315	38,168,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,129,647	1,736,118
電子記録債務	4,420,531	3,073,851
短期借入金	—	1,000,000
未払法人税等	657,314	128,484
賞与引当金	538,105	411,843
その他	2,415,879	3,389,706
流動負債合計	10,161,478	9,740,003
固定負債		
繰延税金負債	25,317	64,480
退職給付に係る負債	87,291	93,578
その他	226,964	309,943
固定負債合計	339,573	468,002
負債合計	10,501,052	10,208,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,535,775	2,535,775
利益剰余金	17,608,874	17,561,278
自己株式	△25,341	△25,341
株主資本合計	27,004,236	26,956,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	594,710	584,822
為替換算調整勘定	460,029	246,268
退職給付に係る調整累計額	24,553	26,334
その他の包括利益累計額合計	1,079,293	857,425
非支配株主持分	143,733	146,698
純資産合計	28,227,263	27,960,765
負債純資産合計	38,728,315	38,168,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,946,786	5,185,392
売上原価	5,039,395	3,862,657
売上総利益	1,907,391	1,322,735
販売費及び一般管理費	1,083,987	1,062,395
営業利益	823,403	260,339
営業外収益		
受取配当金	18,628	21,405
為替差益	24,054	38,448
その他	20,341	20,624
営業外収益合計	63,024	80,478
営業外費用		
債権売却損	4,263	1,028
固定資産除却損	421	1,859
その他	28,157	2,167
営業外費用合計	32,842	5,055
経常利益	853,586	335,762
税金等調整前四半期純利益	853,586	335,762
法人税、住民税及び事業税	120,276	68,408
法人税等調整額	138,910	38,350
法人税等合計	259,187	106,758
四半期純利益	594,398	229,004
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,990	5,584
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,407	223,419

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	594,398	229,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123,938	△9,887
為替換算調整勘定	△31,719	△216,380
退職給付に係る調整額	4,657	1,780
その他の包括利益合計	△151,000	△224,487
四半期包括利益	443,397	4,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,727	1,551
非支配株主に係る四半期包括利益	15,669	2,965

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,744,523	202,263	6,946,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,744,523	202,263	6,946,786
セグメント利益	1,057,944	6,971	1,064,915

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,064,915
全社費用(注)	△241,511
四半期連結損益計算書の営業利益	823,403

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・ カード事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,874,770	310,622	5,185,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,874,770	310,622	5,185,392
セグメント利益	379,597	128,216	507,814

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	507,814
全社費用 (注)	△247,474
四半期連結損益計算書の営業利益	260,339

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。